

各 位

会 社 名 株式会社KG情報
 代 表 者 名 代表取締役社長 益田 武美
 (J A S D A Q ・ コード 2408)
 問 合 せ 先 岡山県岡山市平田 170-108
 役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長
 三上 芳久
 電 話 086 - 241 - 5522

平成 18 年 12 月期中間 (連結 ・ 単独) 業績予想との差異及び 通期 (連結 ・ 単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年12月期(平成17年12月21日～平成18年12月20日)の業績予想について、平成18年1月31日付当社「平成17年12月期 決算短信(連結)」及び同日付当社「平成17年12月期 個別財務諸表の概要」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1 . 平成 18 年 12 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 17 年 12 月 21 日 ~ 平成 18 年 6 月 20 日)

(単位 : 百万円 百万円未満切捨て表示)

	営 業 収 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	2,358	290	151
今回修正 (B)	2,237	348	166
増減額 (B - A)	120	58	15
増 減 率	5.1%	20.3%	10.0%

(2) 修正理由

当連結中間会計期間における情報提供サービス業界は、引き続きインターネットを中心としたデジタルメディアやフリーペーパーの台頭等により、企業間・メディア間でのシェア獲得競争が激化しており、市場ニーズの多様化もより進んでおります。当社グループにおきましても、前連結会計年度より求人情報誌及び住宅情報誌の有料情報誌から無料情報誌への移行や各情報誌の統廃合及びWEBサイトの強化、見直しなどを行い、市場の変化への対応を随時進めております。当中間連結会計期間においても、就業形態の多様化に対応すべくアルバイト・パート専門求人情報誌の総合求人情報誌への移行及び各媒体のリニューアルやオールカラー化などによる誌面の変更並びに香川県でのプライダル情報誌の新規創刊などの対策を講じました。

これらの対策が奏功し、前連結会計年度に減収となった求人関連情報の営業収益は、当初計画より若干遅れて推移し、前回業績予想を下回ってはいるものの単月では前年を上回る状況まで回復しており、今後に期待できるところとなっております。また、ライフ関連情報につきましては、既存エリアでの競争の激化や一部伸び悩んでいるエリアへの対応を優先させたため、当初予定していたクーポンインフリーペーパーの新規創刊が下半期へずれ込んだこと等により計画を下回って推移しましたが、前年同期比では 21.6%増と大きく増収となっております。この結果、営業収益は 2,237 百万円 (対前回比 120 百万円減) となる見込であります。経常利益及び中間純利益につきましては、材料費等の印刷に係る原価や採用人員の調整による人件費の抑制等により、それぞれ 348 百万円 (対前回比 58 百万円増)、166 百万円 (15 百万円増) となる見込であります。

(3) 通期 (平成 17 年 12 月 21 日 ~ 平成 18 年 12 月 20 日)

(単位 : 百万円 百万円未満切捨て表示)

	営 業 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	4,952	693	351
今回修正 (B)	4,639	693	351
増減額 (B - A)	313		
増 減 率	6.3%		



(4) 修正理由

通期につきましては、引き続きシェア獲得競争は厳しい状況で推移すると予想しております。下半期につきましては、クーポンインフリーペーパーの新規発行や求人関連情報及び住宅関連情報に係るWEB関連事業の立ち上げなどの施策を講じる予定であります。現在のところ、当初計画より開始時期が遅れており、営業収益への貢献も来期以降にずれ込むものが出るため、営業収益は4,639百万円(対前回比313百万円減)と予想しております。営業費用につきましては、引き続き印刷経費の抑制や人員調整による経費の抑制等に努めてまいります。また、実施時期のずれ込みにより印刷部門の移転及び設備増強、新規事業所の開設並びに新規創刊等の初期投資に係る影響額の減少もあり、経常利益及び当期純利益はそれぞれ693百万円、351百万円と当初予想通り確保できるものと予想しております。

(5) ご参考：前期の実績(平成16年12月21日～平成17年12月20日)

(単位：百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	当期純利益
中間期(12/21～6/20)	2,028	317	160
通期(12/21～12/20)	4,189	489	252

2. 平成18年12月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成17年12月21日～平成18年6月20日)

(単位：百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	2,271	308	160
今回修正(B)	2,145	361	186
増減額(B-A)	125	52	26
増減率	5.5%	17.1%	16.3%

(2) 修正理由

営業収益は2,145百万円(対前回比125百万円減)、経常利益は361百万円(対前回比52百万円増)、中間純利益は186百万円(対前回比26百万円増)となる見込であります。

なお、修正理由につきましては、連結業績予想のとおりであります。

(3) 通期(平成17年12月21日～平成18年12月20日)

(単位：百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	4,790	711	369
今回修正(B)	4,486	711	369
増減額(B-A)	304		
増減率	6.4%		

(4) 修正の理由

営業収益は、対前回比304百万円減の4,486百万円とし、経常利益及び当期純利益は、それぞれ711百万円、369百万円と前回業績予想と同額を見込んでおります。

なお、修正理由につきましては、連結業績予想のとおりであります。

(5) ご参考：前期の実績(平成16年12月21日～平成17年12月20日)

(単位：百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	当期純利益
中間期(12/21～6/20)	2,020	361	204
通期(12/21～12/20)	4,155	558	322

以上

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき将来予測を判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。